

ふるさと歴史散歩

〔第145回〕 幻の庭園・龍仙寺の栢原山池 その一

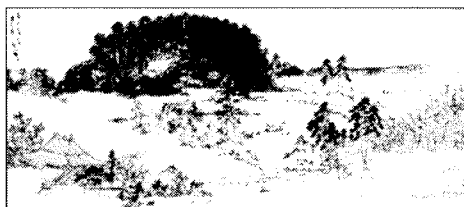
江戸時代後期、広島出身で日本を代表する文人または漢学者を挙げよと言われたら、先ずもつて、頼山陽とその父の頼春水や坂井虎山、備後出身では菅茶山といった天下に名だたる著名な人物を挙げるだろう。これらの文人たちが府中村に足繁く何度もやって来たとなると、本当かなと穏やかでないが、紛れもない事実であった。昨年、当町の名刹龍仙寺さんが開基500年を記念して『開基五百年史』を出版し、その編纂を手伝いしたことで分かった。

およそ200年前の江戸時代後期に龍仙寺境内に栢原山池と言う庭園があった。けれども、天保7年（1836年）の大洪水で完全に破壊流失して、跡かたもなくその姿を見ることが出来ない。しかし、この庭園を描いた江戸末の文人画の名手として著名な谷文晁と美人画の名手の山

口素絢の水墨画が現存しており、庭園の全体像を知ることができる。そしてこの庭園に文人たちが四季折々に来遊して、一景ごとの雅趣に触れた感慨を吐露した17首の漢詩を残している。また山陽は文化六年（1809年）4月21日に父春水に従い龍仙寺の庭園に來遊し、庭園の様子と由来を『栢原山池記』と題して漢文体で記している。

これらの詩文からどんな庭園であったのか、そして文人たちを魅了した物は何であったのか解説してみたい。

広島には江戸時代に作庭された有名な庭園があり、そのいくつかは原爆の惨禍を受けたが現存するものがある。代表的なものが幟町にある縮景園（泉水屋敷）である。この他に消滅も含め、水主町に興楽園、吉島に三原浅野家の萬象園、国泰寺村に年寄今中相親の春和園、舟入



谷文晁の庭園図（龍仙寺『開基五百年史』より）

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

村に家老上田家の萬春園などがあつた。しかし、これらの庭園は藩主や重臣の別邸でどこに著名な文人や学者といえども茶会、銅板会などで招かれない限り、自由に訪れ鑑賞することができなかった。め、一般庶民は入れなかった。しかし、栢原山池は塀や垣根がなく身分を問わず誰でも訪れ鑑賞することができたのが武家の庭園とは完全に違っている。

正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター（八幡四丁目1-1） ☎286-3266



特別収集日

午前8時30分までに
ごみステーションへ出してください。

1/11(月) 成人の日	○普通ごみ【月曜日収集地区】 ○有価物【月曜日収集地区】
-----------------	---------------------------------

*環境センターへのごみの持ち込みは受け付けていません。

有価物の出し方

有価物は次の順で品目ごとに収集しています。すでに収集が終わった品目を、後から出さないでください。

新聞・雑誌 → ダンボール → 衣類 → ビン・缶・金属類

環境センターへの持ち込み

1月4日(月)から平常どおり業務を開始します。年始は大変混み合いますので、時期をずらすなどご協力をお願いします。「家庭ごみの正しい出し方」に従って分別し、持ち込んでください。

【受付日時】 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～11時30分
午後1時～3時30分 *時間厳守！

庭木を剪定したら

次のとおり整理し3束・3袋以上は、環境センターへ持ち込み、2束・2袋までは、普通ごみの収集日にごみステーションへ出してください。

- 枝→50cm以下に切り30cm以下に束ねる
- 小さな枝・草・葉→中身の見える袋に入れる



ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。



ごみを出す時間にご注意を！
前夜や早朝に出すとカラスが荒らすことがあります。